

能越自動車道の建設経緯と営業概要

建設に向けて

石川県能登地域・富山県北西部と三大都市圏との交流を促進するとともに、沿線各地の開発プロジェクトを推進し、広域観光ルートの形成など地域の発展を目的として、昭和47年、沿線自治体の首長等が構成員となり「能

越自動車道建設促進期成同盟会」が結成された。

さらに、昭和62年6月、第四次全国総合開発計画の高規格幹線道路網14,000kmの中に位置づけられた。

建設の歩み

平成2年6月23日 第I期工事の起工式（建設省直轄事業）
 平成3年1月4日 小矢部砺波JCTから有料道路事業着手
 平成8年3月28日 小矢部砺波JCT～福岡IC間6.9km 供用開始
 平成8年11月12日 第II期工事の起工式（建設省直轄事業）
 平成10年1月21日 有料道路事業着手
 平成12年7月19日 福岡IC～高岡IC間6.8km 供用開始
 平成16年6月13日 小矢部東本線料金所、福岡本線料金所開業（小矢部東料金所、福岡料金所、高岡料金所は廃止）
 高岡IC～高岡北IC間4.5km 供用開始

平成19年4月15日 高岡北IC～氷見IC間11.2km 供用開始
 平成21年10月18日 氷見IC～氷見北IC間2.8km 供用開始
 平成24年3月25日 氷見北IC～灘浦IC間5.7km 供用開始
 平成25年3月24日 七尾大泊IC～七尾城山IC間9.3km 供用開始
 平成27年2月28日 灘浦IC～七尾大泊IC間7.1km、七尾城山IC～七尾IC間3.2km 供用開始
 平成27年11月8日 能越県境PA供用開始
 平成28年3月27日 氷見南IC供用開始
 平成30年6月20日 本線料金所統合（福岡本線料金所は廃止）



北へ向かって進む舗装工事（高岡市笹川地区）



旧JR北陸本線を跨ぐ高架橋工事（高岡市宝来地区）

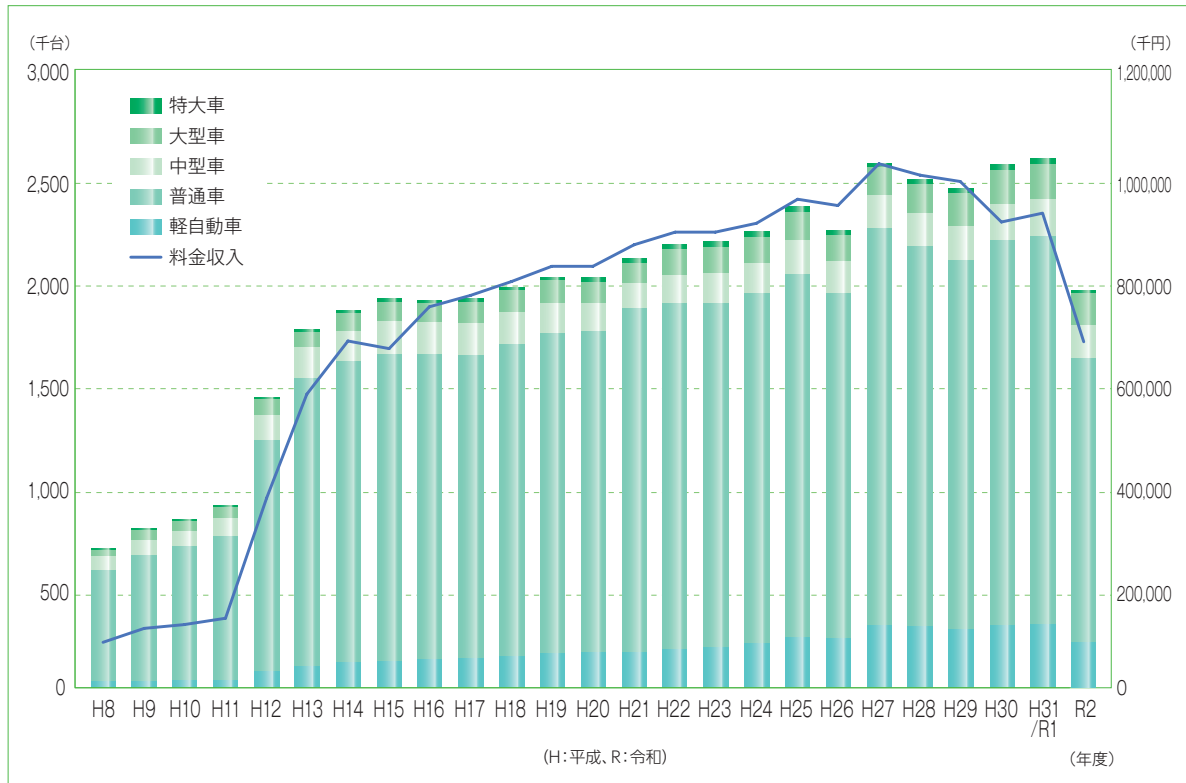
通行料金

令和3年4月1日現在（単位：円）

料金所（区間）	小矢部東本線 （小矢部砺波JCT～高岡IC）
軽自動車等	280
普通車	350
中型車	430
大型車	590
特大車	980

（料金徴収予定期間：令和24年6月21日まで）

通行実績（小矢部砺波JCTにおける車種別交通量）及び料金収入



高岡IC～福岡IC開通記念式典 (平成12年7月19日)



冬の安全確保のため梯団除雪を実施



小矢部東本線料金所